

令和6年度 学習の指針（シラバス） 野田市立第一中学校
 ◎学年（ 2 ） 学年 ◎教科（ 技術・家庭（技術分野） ）

使用教科書	開隆堂 技術・家庭科 技術分野			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験的な活動を通して、技術や技能の知識・理解を深める。 ・ 生活や社会で利用されているエネルギー変換、情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 ・ 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製図等に表現し、試作等を通じて具現化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 ・ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 			
学習計画	前期	4月・エネルギー変換、特に電気や発電方法について。 5月・各種発電所の利点と課題、新たな発電方法について。 5月・オーロラクロックの製作およびプログラミング 6月・はんだ付けについて。 6月・回路図、図記号について。 7月・PCの基本的な操作と入力について。 9月・プログラミングについて。	後期	10月 11月 12月 1月 2月 2月 3月
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記と同様 ・ 前期と後期で技術分野と家庭分野が入れ替わる。 		
主な活動形態や使用教材など	<p>【主な活動形態】 個人活動、ペアワーク、グループワーク ＊ねらい、内容に応じて適切な形態をとり、活動します。</p> <p>【主な使用教材】 各種工具、デジタル機器（PC、eラーニング教材等）、ノートなど ＊ねらい、内容に応じてより効果的な活用方法を選択していきます。</p>			
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法	
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性を考えながら、協力し、積極的に作業を行うことができるか。 ・ 電子部品と工具の特徴を理解することができるか。 ・ エネルギーの種類と活用方法を理解することができるか。 ・ コンピュータやソフトウェアの特徴を理解し、活用することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト（直し） ・ 授業観察 ・ 部品加工 ・ 作品精度 ・ ノート 等 	
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの考えを持って、考察し、発表や表現を行うことができるか。 ・ 授業の挙手、発表等積極的に行うことができるか。 ・ 電気回路や図記号を理解することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト（直し） ・ 自己評価カード ・ ノート ・ 授業観察 等 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何事も関心を持って、意欲ある態度を持って授業に臨むことができているか。 ・ 授業の挙手、発表等積極的に行うことができるか。 ・ 製品を丁寧に仕上げ、精度の高い作品を完成するように努めることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 作業進度 ・ 自己評価カード ・ 提出物 等 		
学習についてのアドバイス	<p>【授業では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物をしないようにしましょう。 ・ 安全第一で作業を行うので、服装身だしなみを整えて授業に臨みましょう。 ・ 技術室やPC室は遠いので、移動のことを考えて計画的に行動しましょう。 ・ PCは指示があるまで勝手に使用しないようにしましょう。 <p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題があれば、必ずやってくる。・ 製作した作品は大切に使用しましょう。 ・ 身についた技能や考えを、家庭や社会で実践できるようにしましょう。 			